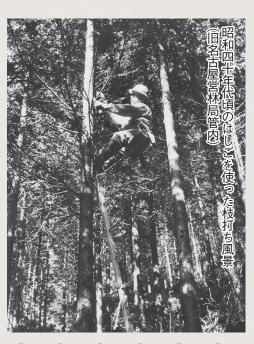
秋蔵写真

今は骨の林鶏

林業を当局秘蔵の写真とともにご紹介します。 今は昔、山村に暮らす人々とその生業としての

枝打ち」



背丈よりも高い所の枝を扱うものですから、 までの間で行うことが多いものです。刃物で 枝を切るというシンプルな作業ですが、 の価値が高い部分、 が少なく真っ直ぐな木材を生産することです 樹木の枝を切る「枝打ち」の大きな目的は節 枝打ちはある程度の太さがあり木材として 根元から高さ八いぐらい

第16回

中部森林管理局技術普及課

井上 日呂登

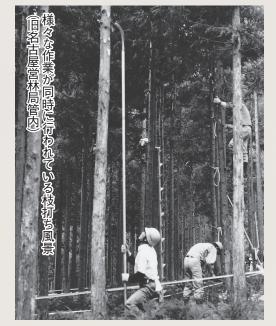


やり方、 使う道具には幾つもの種類があ りま

残る節が大きくなってしまいますから、作業 りもしました。さらには、 高い位置に登るために足にスパイクを付けた 者の技術力・熟練が必要な仕事です。 てはいけませんし、 ました。作業の際に木の幹を傷つけてしまっ 枝を切るための道具としては鉈、 木製または金属製の各種はしごをかけた あるいは枝切り用の鋏などが使わ 枝の部分を残し過ぎても とても長い柄の鎌 手でのこ また、 n 小

> 検討されたこともありました。 を使って枝を切るやり方や枝打ちロボットが

術の進歩などから、 要視されなくなっていったこと、製材加工技 る機会は少なくなっていきました。 かつて枝打ちは熱心に取り組まれた作業だっ たのですが、 節が少ない木材は価値が高くなりますので、 その後、 国有林で枝打ちが行われ 節の有無がそれほど重



るサイトです。 を読み込んでください。 て!むか~しの写真を紹介す 「モノクロ森林紀行」で紹介しております。 これは、カラー写真のない時代へ時を超え 当サイトへは、QRコード ここで紹介している写真は、 当局サイト

